

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立長吉中

学校

生徒数

94

平均値

2年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	31.33	26.82	41.08	50.05		83.44	7.94	198.90	18.63	40.30
大阪市	28.65	26.89	43.47	51.80		80.14	8.06	195.02	20.28	41.69
全国	28.95	26.09	45.12	51.64		78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
女子	24.42	23.11	43.13	43.76		53.87	8.87	161.16	11.70	46.70
大阪市	23.12	22.70	46.32	46.59		53.12	9.03	166.76	12.20	48.14
全国	23.15	21.70	46.99	45.74		50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

結果の概要

「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問において肯定的な回答が男子:87.2%女子:76.3%であった。どちらも全国平均よりも低い数値であった。
1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は男子:804.9%女子622.2%であった。どちらも全国平均よりも高い数値であった。

調査結果について、男子では握力・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳びが大阪市、全国平均よりも上回る結果となった。
女子では、握力・上体起こし・20mシャトルラン・50m走が大阪市、全国平均よりも上回る結果となった。
男女とも総合結果について大阪市、全国平均よりも下回り、その要因として男女とも長座体前屈の数値が大幅に低いことが考えられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

・体育の授業が直接的に関係しているとは考えにくく、部活動(運動部)での日々の活動によって高められた成果だと感じる。
本学年は、運動部への加入率も高く、お互いに刺激しあえる集団であるため、このような数値になった。

・体育実技授業における週3回の運動頻度において、体力向上を図ることは現実的に難しく、体育教員として、基礎的な動きや運動の楽しさを身につけさせることで運動離れにしないように注力してきた。
また知識を授け、動機付けにいたるまでマインドの部分コントロールしてあげることが体育教員として最も取り組むべき課題である。